

私たち自然科学研究会生物班は、現在 73 回生 3 人、74 回生 8 人の計 11 人で毎週月～金曜日に活動しています。普段は、カメ、アカハライモリ、川魚等の飼育や草花の栽培をしたり、ミナミヌマエビの遺伝子汚染及び生息分布に関する研究を行ったりしています。



2019 年度その他の活動

4 月…本校創立記念祭にて、ビーズと針金を使って DNA の 2 重らせん構造を模した「DNA ストラップ」の作製体験を行いました。その他にも、飼育生物や動物の剥製標本の展示を行いました。

7 月…兵庫県姫路市家島にある、県立いえしま自然体験センターで、ムラサキウニの発生実験と海辺の生物の採集・解剖、種の同定を行いました。

8 月…2 年生の 1 人がシンガポール研修への参加を通じて、ミナミヌマエビの交雑実験とその遺伝子解析の結果を姉妹校である RI で発表しました。

9 月…バンドー神戸青少年科学館で行われた「青少年のための科学の祭典」に参加しました。ヒイラギモクセイの葉脈標本の作製体験を行い、小さな子供たちに大好評でした。

また、甲南大学ポートアイランドキャンパスにて開催された、甲南大学 FIBER リサーチカップに出場しましたが、最優秀賞を逃し、来年で雪辱を果たすと誓いました。

11 月…御影公会堂にて、6 月から神戸市環境局の業に協力する形で進めてきた、神戸市におけるアリの調査研究を 1 年生が発表しました。

また、バンドー神戸青少年科学館にて、兵庫県高等学校総合文化祭 自然科学部門発表会参加し、ポスターセッションにてミナミヌマエビとアリの研究の発表を行いました。

2 月…新たにミナミヌマエビの遺伝子解析を行い、現在も継続中です。

今年度も、顧問の先生方などたくさんの方々に支えられ、活動を行うことが出来ました。感謝するとともに、今後はより興味深い活動をしていけるように部員一同励んでいきたいと思っています。

(仁田峠 達也)

